一般質問（要旨）

コロナ禍の昭島市の行財政運営について

無会派　南雲 隆志 議員

質問　令和3年度の歳入について、①新型コロナウイルス感染症の第3波ともとれる状況の中、市税等の見通しは。②これまで着実に基金を積み立て市債を減らしてきた。今後の見通しは。

答弁　①個人市民税、法人市民税においては、非常に厳しいものと捉えている。②これまで以上に基金と市債のバランスに配意した、中長期的な視点での財政運営が重要と認識している。

質問　市長は、新しい昭島の未来に向け、鋭意邁進されていると感じるが、今後、行財政運営において、市がとるべき対応と対策は。

答弁　財政環境が危機的状況にある中、厳選した施策展開を図るとともに、更なる効率的・効果的な予算執行に努めていく。

質問　災害対策について、①市民がハザードマップを更に有効利用するため、どのように周知徹底していくのか。②ハザードマップに、多摩川や残堀川の流れや速さは表記できないのか。③避難所における新型コロナウイルス感染症への対応を、コロナ禍の様子を注視しながら、講習会等を開き、市民に周知徹底しては。

答弁　①自主防災組織等への防災講話等の機会を捉え、活用方法を普及・啓発しており、今後も積極的に実施していく。②表記することは困難だが、他自治体の状況等も踏まえ、調査・研究していく。③3密を避け、実施できる少人数での講習会等の開催について、検討していく。

質問　空き家で、倒壊しそうな家屋や、樹木が鬱そうとした庭が存在する。早急な対応が必要では。

答弁　策定中の空家等対策計画で、対策を記していく必要があると考えている。

新型コロナウイルス感染症への対応について

自由民主党昭島市議団　山本 一彦 議員

質問　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う心のケアについて、民間の関係機関とも連携しながら、1人のSOSも聞き漏らさず、受け止められる環境を整えていくことが重要と考える。①心のケアが必要な方の相談件数は増加傾向にあるのか。また、相談体制の現状は。②精神的ダメージを受けた方への支援について、早い段階で悩んでいる方を医療機関へつなげる役割が大切と考える。支援体制や医療機関との連携は。③根源的な価値観を心理分析し、9つのタイプに分類するエニアグラムを活用することで、他者とのコミュニケーションがスムーズになると言われており、多くの企業の研修に取り入れられていると聞いている。エニアグラムを活用した研修プログラムを周知する考えは。

答弁　①相談件数は増加傾向にある。相談は保健師が担当しており、丁寧な対応を行っている。②相談者を適切な支援につなげ、相手の立場に立った対応を図りながら、医療機関と連携し、命を守ることを第一に、取り組みを進めている。③他市の状況等も参考としつつ、調査・研究していく。

質問　市内の小中学校の移動教室、修学旅行の代替として、市内ホテルを利用した宿泊行事が行われている。子どもたちにとって、大変貴重な経験になると考える。行事の実施による効果は。

答弁　食事のマナー等を学んだだけでなく、楽しい思い出を作る機会となり、今後の生活に役立てていこうとする意識が高まったと感じる。また、市の歴史・文化などに触れ、改めて良さを認識し、昭島市を好きになってほしいと考える。

うまくキャッチできるかな

安心・安全な街づくりについて

自由民主党昭島市議団　森田 久夫 議員

質問　中沢堀用水は崖線近くの用水のため、土砂が堆積し、雑草が繁茂する。長い期間それを繰り返し、越水も度々発生している。他の用水も含め、計画的に整備し、美しい緑豊かな水と緑のまち昭島を目指す考えは。

答弁　市内用水路の土砂の堆積について、その撤去には多額の経費が必要となるため、緊急性の高い箇所を確認した上で、安定した流水体系を維持できるよう、土砂をならして流れをよくするなど、より安価な手法等を引き続き検討していく。

質問　アキシマエンシスの卓球台について、①体育館の中に、何台設置可能か。②長寿社会が進み、卓球を楽しみながら健康管理する市民から増設を願う声があるが、考えは。

答弁　①現在ある2台を含め、4台から6台の設置が可能と考える。②卓球は誰もが楽しめ、健康増進にも寄与する。指定管理者との協議も含め、検討していく。

質問　農地の減少傾向が毎年続いている。地産地消を進め、空いている農地や高齢のため、耕作が困難となった畑を拝島ねぎやあきしまさくらの生産地として借り受ける。そして農業の活性化のためにブランド化を行うなど、市がもう少し後押しを行うことで、農業の活性化は更にできるのではないかと考えるが、所見は。

答弁　農業振興は大変重要である。認定農業者制度の周知を図り、農業委員会やJA等と連携しながら、農地の保全に努め、ブランド野菜である拝島ねぎの利用促進や、植木生産振興会が進めているあきしまさくらの普及を支援し、市内農業の振興に努めていきたい。

多摩辺中学校北側地域の雨水対策について

自由民主党昭島市議団　馬場 保 議員

質問　拝島町四丁目、多摩辺中学校の北側周辺地域は、雨水管が敷設されておらず、廃滅水路に土砂が堆積している状況で、雨が降り続くと冠水状態となる。抜本的な雨水対策を。

答弁　水路については、本来整備された目的や、宅地化の状況に鑑みると雨水対策に活用するのは困難であると考える。可能な範囲での雨水管敷設を行い、雨水幹線の枝線や浸透人孔に接続するなどの対応を検討していく。

質問　拝島駅南口地下自転車等駐車場について、自転車の一時利用区画が一杯で、駐輪ができても、帰宅時に別の場所に移動されていることがあると聞く。弱者保護の観点からも、スムーズな利用ができるよう、対応することができないのか。

答弁　定期利用区画の一部を一時利用区画に転用するなど、不便をかけないよう努めており、更なる利便性向上に向け、指定管理者とも協議し、改善していく。

質問　通学路の安全対策について、①拝島町周辺の幹線道路に架かる横断歩道橋のうち、3か所は老朽化が進んでいる。早期に補修すべき。②通学時における交通安全対策が必要な箇所があると聞く。対応すべき。

答弁　①所管となる国や都の担当部署に改善を要望していく。②引き続き、子どもたちの見守りや通学路の点検、交通安全施設の改善などに取り組んでいく。

質問　六差路である田中町の栗の沢交差点は、数年前までなくなっている。再設置を。

答弁　栗の沢交差点など、信号機のLED化に伴い取り外された地点名標識については、限られた予算で、順次再設置に努めている。

4面下段より

賛成

自由民主党昭島市議団　馬場 保 議員

着陸経路上に位置する本市上空を着陸態勢で低空飛行することや、何らかの事情で滑走路に着陸できない際に旋回飛行することは、やむを得ないことである。

しかしながら、昨今では飛行回数の増加などが見受けられるため、周辺住民への十分な配慮やまちづくりへの支援などに、国や米軍が今以上に力を入れるよう要望し、本陳情を不採択とする委員長報告に賛成する。

反対

日本共産党昭島市議団　奥村 博 議員

最低飛行高度規制が守られておらず、市内上空での旋回が繰り返されている。

日米合同委員会の合意を守ろうとしない米軍と日本政府に強いメッセージを発信することは、議会の役割である。

地方自治法第99条に基づき、市民の声を意見書として、議会の意思で、関係行政機関に提出すべきであり、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

本会議において賛否の分かれたもの

○は賛成　×は反対

件名 ＼ 会派名（）内は議員数 議長は含まれない	自由民主党昭島市議団 (7)	公明党昭島市議団 (4)	みらいネットワーク (3)	日本共産党昭島市議団 (3)	令和昭島の会 (2)	無会派 (1)	無会派 (1)	採決の結果
令和２年度昭島市一般会計補正予算（第７号）	○	○	×	×	○	○	○	可決
昭島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×	○	可決
市議会から「米軍機の市街地上空での低空飛行と旋回飛行の全面的中止」を求める意見書を国に上げてください（陳情）	×	×	○	○	×	×	×	不採択